

令和 5 年度 水道事業概況

水需要の減少に伴い、有収水量も減少傾向が続く中、令和 5 年度については、4 年度に実施した物価高騰支援等としての水道料金減免措置分の給水収益^{*1}が復元する形で、結果として、給水収益が増となりましたが、その減免措置分の一般会計負担金^{*2}が皆減することとなり、収益的収入総額では減収となりました。

投資面では、国の補助事業を活用し、再構築事業計画に基づいた老朽施設の更新と管路の耐震化、機能の向上に、引き続き取り組みました。

施設の老朽化に伴う延命配水池更新事業については、旧配水池及び既設管の撤去工事後、展望台への連絡通路や配水池場内の整備、旧配水池跡地の公園復旧整備を行い、令和 6 年 1 月末に工事が完了しました。

(1) 給水状況

令和 5 年度末	給水戸数	53,502 戸	給水人口	103,795 人
令和 4 年度比		644 戸		1,861 人 の減

年間給水量	9,891,164 m ³	年間有収水量	9,888,813 m ³
令和 4 年度比	188,090 m ³		187,670 m ³ の減

(2) 財政状況

収益的収入総額	2,549,939,727 円
令和 4 年度比	34,219,457 円の減

営業収益：給水収益	2,215,508,190 円	令和 4 年度比 59,676,849 円の増 ^{*1}
-----------	-----------------	---------------------------------------

営業外収益：その他（一般会計負担金）	令和 4 年度比 108,276,454 円皆減 ^{*2}
--------------------	--

収益的支出総額	2,280,015,027 円
令和 4 年度比	12,757,349 円の増

（受水費、減価償却費の増）

収支差額 269,924,700 円の純利益、平成 21 年度から 15 年連続の黒字決算